

# 単元指導計画表～振り返り編～

小学校第6学年

拡大図と縮図 【新編 新しい算数6 p.96～106 (東京書籍)】

全8時間

## 数学的な見方・考え方

**見方**・・・～に着目する  
**考え方**・・・～を論理的に考える ～を筋道立てて考える  
 ～を基に考える ～と関連付けて考える  
 ～と結び付けて考える ～の条件を変えて考える  
 ～の適用範囲を広げて考える

## 振り返りの視点



ア) 何が分かったか、何ができるようになったかについて  
 イ) 何に着目したか、どのように考えたかについて  
 ウ) 次の学習の見通しを持ったり、生活とのつながり  
 を考えたりしたかについて

次	時	教科書のページ 本時のねらい	中心となる 数学的な見方・考え方 <small>※本来は一体として捉えるものですが、 見やすさを考慮し、分けて記載してい ます。</small>	視点 振 返 り の	具体的な言葉掛け例 →期待される児童の反応例	方 法 振 返 り の
1	1	p. 96～98 拡大図、縮図の意 味や性質について理 解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>対応する辺の長さの比や角の大きさに着目する。</li> <li>拡大図や縮図の決まりを合 同の意味や比の考え方を 基に考える。</li> </ul>	ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>拡大図とはどんな図ですか。</li> <li>縮図とはどんな図ですか。</li> <li>→対応する角の大きさがそれぞれ等しく、対 応する辺の長さの比が等しくなるように、 もとの図を大きくしたり小さくしたりした 図。</li> </ul>	口頭での やり取り
				ア, ウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>今日の学習を振り返って気付いたこと や分かったこと、もっと知りたいこと などを書きましょう。</li> <li>→縦だけ伸ばした図や横だけ伸ばした図は、 同じ形とはいえなくて、縦にも横にも同じ 割合で伸ばしたり縮めたりした図が、同じ 形であるといえる。</li> <li>→身の回りにおける拡大図、縮図を探してみ たい。</li> </ul>	学習 感想
	2	p. 98～99 拡大図や縮図の性 質の理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>対応する辺の長さの比や角の大きさに着目する。</li> <li>拡大図や縮図の性質を対応 する辺の長さの比や角の 大きさを基に考える。</li> </ul>	イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>拡大図であるか、縮図であるかを調べ るためには、何と何が分かればよいで すか。</li> <li>→対応する角の大きさと対応する辺の長さの 比が等しいか。</li> </ul>	口頭での やり取り
				ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>拡大図や縮図の意味が分かったか教科 書の問題で確かめましょう。</li> </ul>	適用 問題
	3	p. 100 辺の長さの比や角 の大きさを用いて、 拡大図、縮図をかく ことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>対応する辺の長さの比や角の大きさに着目する。</li> <li>拡大図、縮図のかき方を既 習の合同な図形のかき方を 基に考える。</li> </ul>	イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>拡大図のかき方にはどのような方法があ りますか。</li> <li>→2つの辺と間の角を使う方法。</li> <li>→3つの辺を使う方法。</li> <li>→1つの辺とその両はしの角を使う方法。</li> </ul>	口頭での やり取り
				ア, イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>縮図をかくことができるか教科書の問題 で確かめましょう。</li> <li>ペアになってどのようにかいたか説明 しましょう。</li> </ul>	適用 問題

4	p. 101 1つの点を中心とした拡大図、縮図をかくことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>中心となる点からの辺の長さに着目する。</li> <li>1つの点を中心とした拡大図、縮図のかき方を、前時の拡大図や縮図のかき方を基に考える。</li> </ul>	イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>前の時間のかき方と違うのはどこですか。</li> <li>→1つの点を中心にしてかくところ。</li> </ul>	□頭でのやり取り
			ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>拡大図や縮図がかけられるようになったか教科書の問題で確かめましょう。</li> </ul>	適用問題
5	p. 102 平面図形が拡大図、縮図の関係になっているかを調べることを通して、既習の図形に対する見方を深める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習の平面図形の性質に着目する。</li> <li>拡大図、縮図の関係になる理由を拡大図や縮図の性質と関連付けて考える。</li> </ul>	イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>拡大図、縮図の関係になっている図形の特徴は何ですか。</li> <li>→正三角形とか正六角形とか「正」が付く。</li> <li>→円は拡大図、縮図の関係だ。</li> </ul>	□頭でのやり取り
			ア、ウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>ここまでの学習を振り返って、拡大図や縮図について分かったこと、よく分からないこと、もっと知りたいことを書きましょう。</li> <li>→拡大図と縮図のかき方は合同な図形のかき方と同じだ。</li> <li>→拡大図や縮図をかく方法はいろいろある。</li> </ul>	学習感想
2	p. 103 縮尺の意味について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>地図上の長さや実際の長さの関係に着目する。</li> <li>実際の長さを割合や比を基に考える。</li> </ul>	ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>縮尺とは何ですか。</li> <li>→実際の長さを縮めた割合。</li> </ul>	□頭でのやり取り
			ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>縮図から実際の長さが求められるか教科書の問題で確かめましょう。</li> </ul>	適用問題
	7	p. 104~105 縮図をかいて、実際の長さを求めることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>縮図を作成し、辺の長さの割合に着目する。</li> <li>実際の長さを縮図を基に考える。</li> </ul>	イ、ウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>直接測ることが難しい長さはどのように測ればよいでしょうか。</li> <li>→縮図をかいて計算して求める。</li> </ul>
3	p. 106 学習内容の定着を図るとともに、できたこと、つまづいた所を整理する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>対応する辺の長さの比や角の大きさに着目する。</li> <li>拡大図、縮図の関係になる理由を拡大図や縮図の性質と関連付けて考える。</li> </ul>	ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>【導入での言葉掛け】</li> <li>拡大図、縮図の学習の振り返りです。学習したことが身に付いたか、「しあげ」の問題で確かめましょう。</li> </ul>	適用問題
			ウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活のどんな場面で、拡大図や縮図が使われていますか。</li> <li>→コピー機で拡大、縮小ができる。</li> <li>→地図帳は縮尺が使われている。</li> </ul>	□頭でのやり取り
			ア	<ul style="list-style-type: none"> <li>この単元で分かったことやできるようになったことは何ですか。</li> <li>→拡大図と縮図をかくことができるようになった。</li> <li>→縮図をかいて計算すると、実際の長さや高さを求められるということが分かった。</li> </ul>	学習感想

※「本時のねらい」について

現在、宮城県内の市町村立小・中学校では算数・数学科において東京書籍の教科書を採用しており、専門研究員所属校でも算数・数学科の年間指導計画は東京書籍の「指導計画作成資料」を参考に作成している。本資料「単元指導計画表～振り返り編～」中の「本時のねらい」は、専門研究員所属校の年間指導計画より記載したものである。